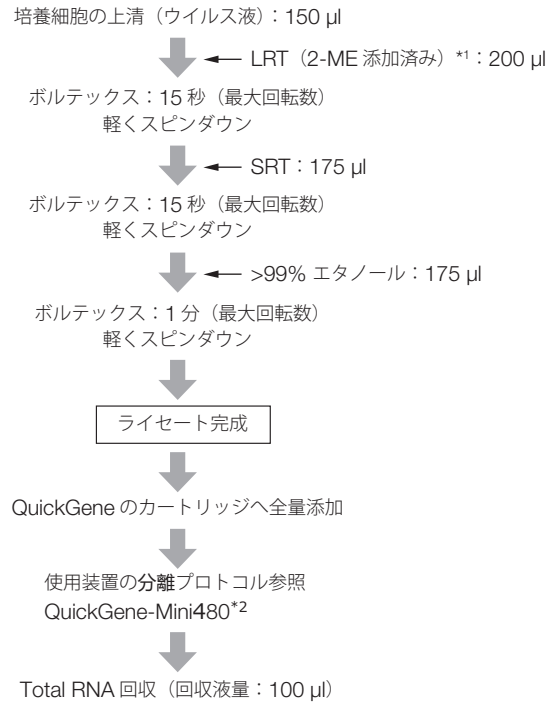


麻疹ウイルス液からの total RNA分離

■ プロトコル



*1 1 ml の LRT 当たり 10 μ l の 2-ME を加える。

*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

■ 結果

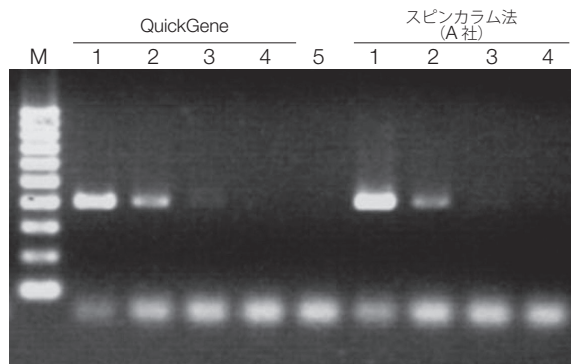
- 電気泳動図
データなし
- Total RNA の収量
データなし
- タンパク質の混入：A260/280
データなし
- カオトロピック塩の混入：A260/230
データなし

■ その他

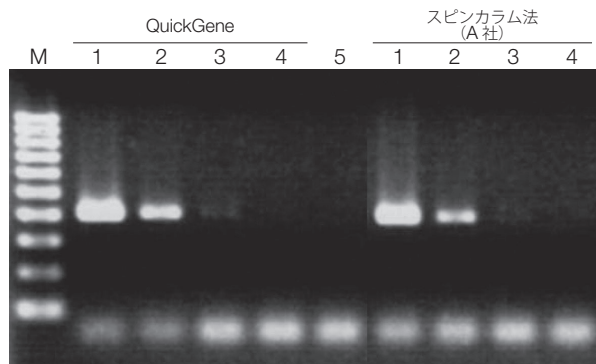
● RT-PCR

QuickGene システムおよびスピнкаラム法 (A社) を用いて麻疹ウイルス液から分離した total RNA でウイルスヘマグルニチン (HA) に特異的なプライマーを使用した RT-PCR を行った。

Edmonston 株 (実験室株)



AK-1 株 (野外株)



電気泳動条件：2.0% アガロース / 1 × TAE

M：100bp DNA Ladder

1：麻疹ウイルス、 10^5 pfu/ml

2：麻疹ウイルス、 10^4 pfu/ml

3：麻疹ウイルス、 10^3 pfu/ml

4：麻疹ウイルス、 10^2 pfu/ml

5：ネガティブコントロール

いずれの total RNA からでも HA の RT-PCR 産物を検出できた。

共通プロトコルサンプル

インフルエンザウイルス、RS ウイルス